

君津中央病院を受診された患者さんへ

当科では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	第二回 本邦における気胸治療の実態調査：多施設共同後方視的研究 (研究倫理委員会承認番号：859)
当院の研究責任者 (所属)	藤原 大樹 (医務局呼吸器外科 部長/科長)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	実施機関 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 理事長 伊豫田 明 東邦大学医学部外科学講座呼吸器外科学分野 研究責任者 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 学術委員会委員長 澤端 章好 川西市総合医療センター 呼吸器外科 研究組織 代表機関 研究代表者 井貝 仁 前橋赤十字病院 呼吸器外科
本研究の目的	呼吸器領域において、原発性自然気胸および続発性自然気胸は、日常診療でよくみられる疾患です。 しかし、その治療内容は施設によって異なり、病態に応じた標準的な治療法が確立されているとは言えません。これは、気胸に対する診療の実態が十分に明らかになっていないことが一因と考えられます。 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会では、このような状況を踏まえて、ガイドライン作成や臨床研究に役立つデータベースを構築することが重要であると考え、2019 年から 2020 年にかけて入院症例を対象とした実態調査を行いました。 前回の調査から5年が経過した現在、再び本邦における気胸治療の現状を明らかにすることを目的として、本研究を実施します。 本研究では、気胸で入院された患者さんの背景や治療内容、退院時の転帰などを調査し、今後の診療の質向上に役立てることを目指します。
調査データの	2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

該当期間	
研究の方法 (対象となる方)	2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に気胸と診断され、入院加療が施行された患者、または他疾患で入院中の場合は同一入院期間内に加療が施行された患者とします。
研究の方法 (使用する情報)	気胸入院症例を対象とし、その患者背景、疾患、治療法、退院時転帰等の実態を調査し、退院時転帰に影響を与えた因子を明らかにします。
資料・情報の他機関 への提供	本研究では、前橋赤十字病院 井貝 仁がデータマネジメントを行い、データセンター担当者がデータマネジメントを実施します。電子症例報告書（eCRF）及びマネジメントツールとして電子メールを用いデータ収集を行いますが、臨床検査データについては中央測定機関のデータを主とします。データセンターのデータ固定後に、解析責任者に対して固定データが提供されます。
個人情報の取扱い	カルテから抽出する段階で匿名化します。
本研究の資金源 (利益相反)	研究の資金源等については本病院の研究に掛かる資金および日本気胸・嚢胞性肺疾患学会の資金を使用します。本研究に係る利益相反はありません。
お問い合わせ先	(研究組織 代表機関) 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 学術委員会・委員 前橋赤十字病院 呼吸器外科 井貝仁 住所：群馬県前橋市朝倉町 389 番地 1 T E L : 027-265-3333 (研究分担者) 君津中央病院 呼吸器外科 科長/部長 藤原大樹 住所：千葉県木更津市桜井 1010 T E L : 0438-36-1071 (代表)
備考	